



ニシガキ

太丸チェーンソープロ 取扱説明書

N-950 バッテリー・充電器付きモデル
N-951 本体単品モデル

共用

無料修理規定

お買い上げ日から保証期間中に取扱説明書の注意事項に従った使用状態で故障した場合には無料修理させていただきます。製品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

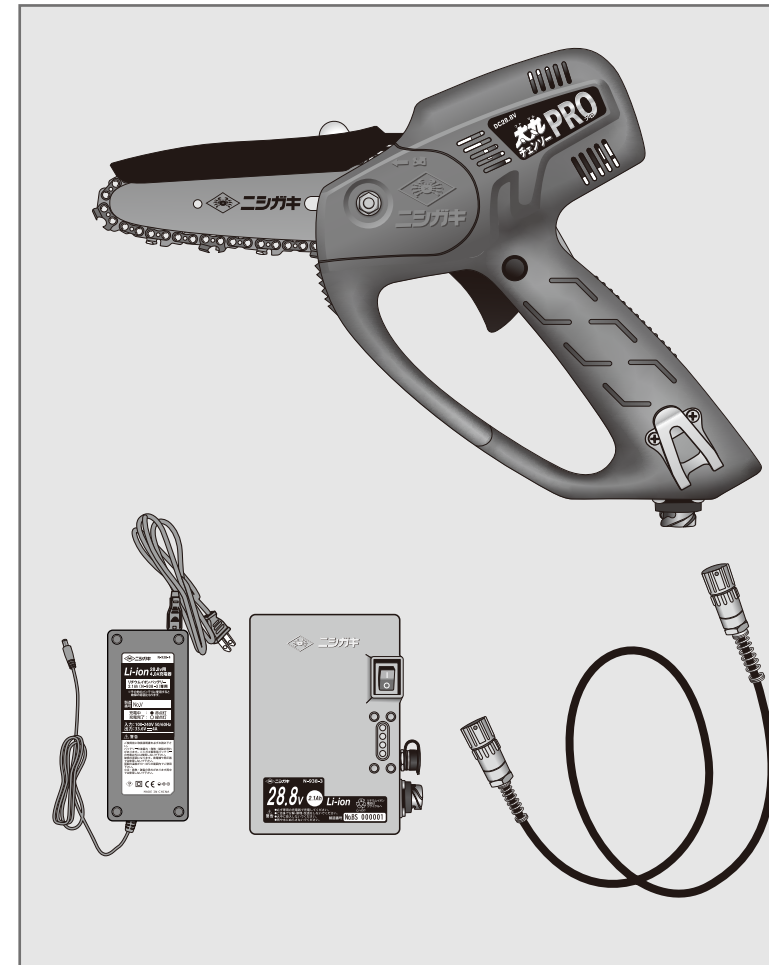
- A. 保証期間内でも次のような場合には、有料修理になります。
1. 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び破損。
 2. お買い上げ後の衝撃、落下あるいは移動、輸送などによる故障及び破損。
 3. 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、本書指定外のバッテリー（充電電池）使用による故障及び破損。
 4. 保管の不備及びお手入れ不備による故障及び破損。
 5. 業務用およびそれに準ずる使用をされた場合の故障及び破損。
 6. 本書のご提示がない。又は本書のお客様記入欄に必要事項が記入されていない。
 7. ソーチェーンや電源コード、バッテリーなどの別売品及び消耗品類の破損。
- B. 本書の内容等の記入を書き換えられた場合は無効となります。
- C. 本製品の故障などに伴う二次的損害に対する保証はいたしません。
- D. 本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）
- E. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはニシガキ工業（株）にお問い合わせください。



ニシガキ工業株式会社

〒673-0404 兵庫県三木市大村500
TEL (0794) 82-1000 FAX (0794) 82-4844



もくじ

- 充電式チェーンソー安全上のご注意 P2~P5
- バッテリー・充電器に関する安全事項 P6~P7
- 仕様・各部の名称 P8~P9
- 充電方法 P10~P11
- 使用中におけるインジケータの点灯表示について P11
- 接続方法 P12
- 作業時の服装について P13~P14
- 点検・整備の項目と目安時間 P15
- ご使用前の点検 P16~P18
- 使用方法 P19~P22
- お手入れ・保管について P23~P30
- トラブルシューティング P31
- 保証書 P32



このたびは、『太丸チェーンソープロ』をお買い上げいただきありがとうございます。

ご使用前に、必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本機の性能を十分ご理解の上で、適切にご使用くださるようお願いいたします。

また、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。



Li-ion

リチウムイオン電池はリサイクルへ

充電式チェーンソー安全上のご注意

ご使用前に、「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。



■表示されている危険度の区分について

警告 誤った取扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 誤った取扱いをしたときに、人が損傷を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■シンボルマークについて



ご使用前に取扱説明書をよくお読みください。



雨中では使用しないでください。



感電に注意してください。



火災に注意してください。



刃先に注意してください。



高温に注意してください。



キックバックに注意してください。



保護メガネを装着してください。



保護手袋を装着してください。



イヤーマフを装着してください。



防護服を着用してください。



滑りにくい靴を履いてください。



点検・メンテナンス前にはバッテリーを外してください。



家庭用ごみとして廃棄しないでください。



チェーンオイル。

警告

■使用目的

・本機は、径の小さい木や枝などを切断・剪定するための工具です。
上記の用途以外には使用しないでください。

■作業環境

- ・暗所、夜間、霧などで視界が悪い中では作業をしないでください。
思わぬ事故やけがの原因となります。
- ・雨天や湿気などがある所では使用しないでください。
本体やバッテリー内に水が入り、感電やショートする恐れがあります。
- ・作業中、子供や動物、第三者を近付けないでください。
使用者のみならず、使用者以外の方が重大なけがを負う原因となります。
- ・可燃性の液体・ガス・粉じんのある所では使用しないでください。
工具から発生する火花に引火し、発火や爆発の原因となります。

■作業者について

- ・作業者は以下の項目を確認の上で本機をご使用ください。
 - 1) 心身ともに健康で正常な状態であること。
 - 2) 取り扱い方法、作業の手順などを理解していること。
 - 3) 成人であること。
 - 4) 飲酒・服薬している方、妊娠している方は本機を使用しないでください。
- ・安全保護具や服装について。
 - 1) だぶだぶの衣装やネックレスなどの装身具は着用しないでください。
 - 2) 手ぬぐいやタオルを首、腰から下げて作業しないでください。
 - 3) 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
 - 4) 髪、衣服、手袋は、回転部分に近付けないでください。
 - 5) 作業時は保護メガネ、ヘルメット、保護手袋を使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。チェーンソー用保護ズボン、滑り防止安全靴、耳栓、イヤーマフなどの着用をお勧めします。

■本機を使用するにあたって

- ・作業を始める前に以下の項目をご確認ください。
 - 1) スイッチ類に異常がないこと。
 - 2) チェーン部の張り具合や部品の破損など、使用に影響を及ぼすすべての部位に異常がないこと。
 - 3) スプロケットの摩耗痕が0.5mm以下であること、ガイドバーの溝の深さが4mm以上であること。
 - 4) 安全カバー、スプロケットカバーが正しく装着されていること。
 - 5) オイルタンクにチェーンオイルが充填され、チェーンオイルの潤滑が適切になされること。キャップが閉じていること。
 - 6) ソーチェーンが鋭利な状態で正しく取り付けられ、円滑に回転すること。
 - 7) 異常な振動や異音がないこと。
 - 8) 本機用に設計された部品のみが取り付けられていること。
 - 9) コード類に破損や損傷がないこと。
 - 10) ハンドルやトリガーに、オイルやグリスが付着していないこと。上記に破損や異常がある場合は本機を使用せず、お買い求めの販売店またはニシガキ工業㈱へ修理をお申し付けください。
- ・作業を始める前に以下の異常がないか確認してください。
 - 1) 本機やバッテリーが異常に熱い。
 - 2) 焦げ臭いにおいがする。
 - 3) 触れるとビリビリ電気を感じる。
 - 4) 本機やバッテリーに歪みや深い傷がある。上記に当てはまる場合は本機を使用せず、お買い求めの販売店またはニシガキ工業㈱へ修理をお申し付けください。

⚠ 警告

- ・作業するにあたって以下の項目を必ず守ってください。
 - 1) 使用中、チェーン部に手、足など身体を絶対に近づけないでください。
 - 2) ソーチェンは鋭利な刃物です。いかなる時にも人のいる方に向けてください。
 - 3) 木を伐倒する際は、倒れる方向に十分ご注意ください。
 - 4) 本体を落としたり・投げたり、ぶつけたりしないでください。
 - 5) ガイドバーの先端部を地面に触れさせないようにしてください。
 - 6) ロックオフボタンを押した状態で固定しないでください。
 - 7) トリガー部分に指をかけた状態で本機を運ばないでください。
 - 8) 電源コードに絡まったり引っかかったりしないようご注意ください。
 - 9) 本体の吸気口を手で塞がないようご注意ください。
 - 10) 切断箇所には石や釘などが無いことを確認してください。
- ・作業エリア外(約3メートル)の人に声が届く範囲内で作業してください。
一人では作業をせず、声を出して助けを呼べる範囲で作業をしてください。
- ・枝などを切断した際は落下物にご注意ください。
落下地点に人や動物が立ち入らないようご注意ください。
- ・使用中、本体の調子に異常振動、異常音を感じたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止してください。
点検・修理をお買い求めの販売店またはニシガキ工業(株)に依頼してください。
- ・使用中、ソーチェンやガイドバーに変形、亀裂が生じたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止してください。
交換用ソーチェン、ガイドバーもご用意しております。お近くの販売店またはニシガキ工業(株)までご用命ください。
- ・ガイドバーの先端部では切断しないでください。
跳ね返り(キックバック)の原因となります。
- ・切り落とし部の重みでガイドバーが挟み込まれないようご注意ください。
けがの原因となります。障害物にソーチェンが挟まった場合は、必ずバッテリーを取り外してから障害物を取り除いてください。
- ・使用中、ソーチェンが硬い物に接触すると、火花が発生する場合があります。
引火性の物がある場所で使用すると火災の恐れがありますのでご注意ください。
- ・使用中、チェーンオイルの注油とソーチェンの張り具合の確認を怠らないでください。
ソーチェンが破断したりガイドバーから外れてけがを負う恐れがあります。
- ・使用中、ソーチェン、ガイドバー、スプロケットが高温になる場合があります。
やけどをする恐れがあるので、完全に冷めるまでは触れないでください。
- ・ソーチェンはトリガーを離してもすぐには止まりません。
けがの恐れがあるので、ソーチェンが完全に停止するのを目視で確認してください。
- ・作業時、周辺温度が10℃～40℃の範囲でご使用ください。
高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。
- ・使用中は、本機の左右にある吸気口を防がないようにしてください。
内部温度が上がると、不具合の原因となります。
- ・足元の不安定なところ(脚立の上や木の上など)では作業をしないでください。
けがの原因となります。
- ・本機を肩より高い位置に持ち上げて作業をしないでください。
けがの原因となります。

⚠ 警告

- ・高さが2メートルを超える場所で作業を行う際は、以下の項目を必ず順守してください。
 - 1) 高所作業用の機器を活用し、安定した足場を確保すること。
 - 2) 安全帯(芯入り)を必ず着用し身体をしっかり固定すること。
 - 3) 片手持ち作業、腕を伸ばしてのチェーンソー操作は行わない。
 - 4) 作業範囲は作業者の肩から腰までの高さとする。
 - 5) 始動は安定した場所で行い、安全装置が確実に作動することを作業前に必ず確認すること。
- ・複数人で作業を行う際は、以下の項目を必ず順守してください。
 - 1) 作業者と作業者の間隔を半径3m以上空けてください。
 - 2) 監督者を置いてください。
 - 3) 使用中、半径3m以内に人や動物が近付いた場合、直ちに本機を停止して注意を促してください。
 - 4) 本機を使用している人に近付く際は、作業者から半径3m以上離れた位置で合図をし、本機の停止と回転の停止を確認してから近付いてください。

■充電式工具に関する安全事項

- ・本機対応のバッテリー以外は使用しないでください。
本体の破損、バッテリーの破裂、液漏れ、発熱などの危険性があります。
- ・本体、バッテリー及び充電器には水掛けや、水洗いを絶対にしないでください。また、雨ざらしにしたり、本体や手が濡れている状態では使用しないでください。
本体やバッテリー内に水が入り、感電やショートする恐れがあります。バッテリー内部に水が入りショートすると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
- ・金属製のパイプや電線の近く、暖房器具、アースされているものなどに身体を接触させないようにしてください。
感電の恐れがあります。
- ・濡れた手でコード類を触らないでください。
感電の恐れがあります。
- ・使用中、本体とバッテリーとを繋ぐコードを切断しないように注意してお使いください。
万一コードを誤って切断した場合は、直ちにバッテリーのスイッチを切り、コードをバッテリーから取外してください。感電の恐れがあります。

■本機の手入れと保管について

- ・誤作動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、電源コードをバッテリーから取外してください。
ソーチェンの調整、ソーチェンや付属品の交換、潤滑油の充填、保管または修理、本機の受け渡し等。
- ・お手入れや整備の際は、必ず手袋をしてください。
素手でソーチェンや部品に触れると、けがの恐れがあります。
- ・使用後はバッテリーのスイッチを切り、電源コードをバッテリーから取外し、チェーン部の停止を確認してから汚れや樹液を取除いてください。
布で拭き取る場合は、ガソリン・シンナー・ベンジン・灯油類はプラスチックを溶かしますので使用しないでください。ハンドル部分に油やグリスがつかないようにしてください。
- ・ソーチェンは常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
ソーチェンの摩耗が激しくなると、跳ね返り(キックバック)など、危険度が高くなります。
- ・分解、修理、改造は決して行わないでください。
異常動作や怪我の原因となります。また、本機に分解、修理、改造を行った場合、補償対象外となります。
- ・本機並びに付属品はハードケースに収納し、子供の手の届かない乾燥した場所に保管してください。
雨のかかる所、湿気のある所、直射日光の当たる所には保管しないでください。

警告

■バッテリー・充電器について

- ・バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。
専用品以外の充電器を使用すると、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
- ・専用バッテリー以外を本体に接続しないでください。また、改造したバッテリーを使用しないでください。
本体の故障、火災、破裂などの原因となります。
- ・バッテリーに対して、以下の行為をしないでください。火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
 - 1) 火の中に投下したり過熱をする行為
 - 2) 火のそばや炎天下 (50℃以上) で充電、保管、使用する行為
 - 3) 水を掛ける、浸すなどの行為
 - 4) 釘を刺す、落とす、叩く、投げるなど、強い衝撃を与える行為
 - 5) 端子部分に針金などの金属を接触させる行為
 - 6) 高圧やマイクロ波にさらす行為
 - 7) 分解・改造などの行為
- ・バッテリーから漏れた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。
万が一液が目に入ったら、すぐにきれいな水で洗い、医師の診察を受けてください。液はかぶれや火傷の原因となることがあります。
- ・電子式変圧器に接続しないでください
充電器の電源として使用すると異常な発熱、発火の恐れがあります。
- ・不要になったバッテリーは一般のごみと一緒に捨てないでください。
ゴミ収集車内でショートし、発火、火災の原因となる恐れがあります。
- ・充電する前に、バッテリー・充電器の本体やコード類に破損がないか確認してください。
破損や損傷は、感電・火災の原因となります。
- ・本体を使用中、バッテリーが熱くなることがあります。火傷にご注意ください。
長い時間肌に触れていると、低温火傷をする恐れがあります。
- ・充電器の電源プラグにあっていない電源コンセントを使用しないでください。
感電の恐れがあります。
- ・充電器の接続部分に針金などの金属で接続しないでください。
発熱し、やけどの原因となります。
- ・充電器を改造・分解しないでください。
故障の原因となります。
- ・充電時、周辺温度が10℃～40℃の範囲でご使用ください。
高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。
- ・濡れた手で充電器を抜き差ししたり、プラグを持ったりしないでください。
感電の原因となります。
- ・長時間使用しない場合は充電器のプラグをコンセントから抜いてください。
火災の恐れがあります。
- ・充電器にほこりやゴミが付着していたり濡れている場合は、拭き取ってから使用してください。
火災・感電の恐れがあります。
- ・ラッカー、シンナー、ガス、ガソリンなど、引火性の液体・気体がある場所では充電しないでください。
爆発や火災の恐れがあります。



バッテリー・充電器に関する安全事項

警告

- ・段ボールなどの紙類、衣類、カーペットなど、燃えやすいものの上で充電をしないでください。
火災の恐れがあります。
- ・充電中は、バッテリーと充電器を布などで覆わないでください。
火災の恐れがあります。
- ・充電中に発煙、異臭などの異常が発生した場合はすぐに充電器のプラグをコンセントから抜いてください。
冷えたのを確認してバッテリーを取り外してください。
- ・充電状態では作業をしないでください。
機器の破損やバッテリーの劣化につながります。
- ・バッテリー、充電器を、子供の手の届く場所に保管しないでください。
けがなどの原因となります。

注意

- ・振動障害を防ぐため、一日の使用時間は2時間以内、連続操作時間は10分以内にしてください。
時間内の使用であっても、使用中に指や手、腕、肩などに疲れを感じた場合は、直ちに作業を中断し休息してください。
血行不良の兆候が見られた時は医師の診察を受けてください。
- ・騒音防止規制について。
騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。
- ・オプション品や付属品は、本機対応のものをご使用ください。
本誌および弊社カタログに記載されている付属品やオプション品以外のものを装着すると、本機の故障や怪我の原因となります。

重要

本機を業務用として使用する場合は、法令で定められた特別教育を受けてください。

<参考>

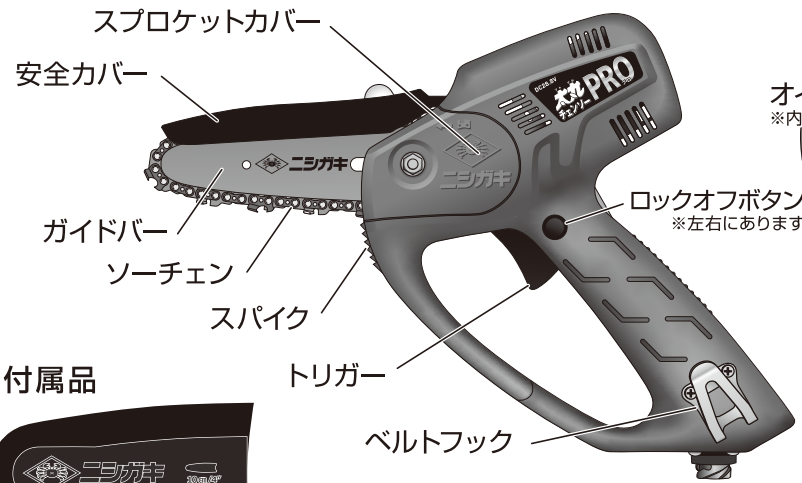
労働安全衛生法第59条第3項 安全衛生特別教育規定（伐木等の業務に係る特別教育）
第10条 安衛則第36条第8号に掲げる業務に係る特別教育は、学科教育及び実技教育により行うものとする。

労働安全衛生規則 第4章 安全衛生教育
第36条第8号 チェーンソーを用いて行う立木の伐木、かかり木の処理又は造材の業務。

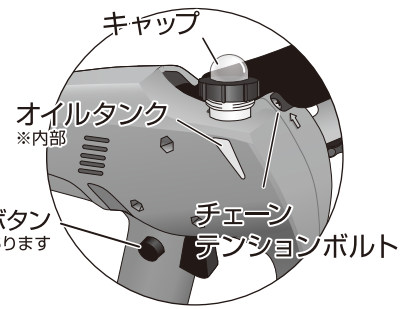
仕様・各部の名称

■太丸チェーンソープロ 本体・付属品

【表側】



【裏側】



N-938-5
28.8V用 電源コード
(→P12)

●付属品



チェーンカバー



ハードケース



プラスドライバー



ボックスレンチ

丸ヤスリ



アームバンド



交換用ソーチェン



チェーンオイル

【モーター・その他仕様】

項目	仕様	
モーター定格電圧	ブラシレスモーター 28.8V	
モーター定格消費電力	540W	
ソーチェン	スピード(m/s)	13
	ピッチ(in)	1/4"
	ゲージ(in)	0.043"
	ドライプリンク数	28
ガイドバー	長さ(in/mm)	4"/100
	ゲージ(in/mm)	0.043"/1.1
チェーンスプロケット	7枚歯	
チェーンオイル	給油方式	手動
	タンク容量	約16cc
切断本数*1	φ50mm生木・約200本*1	
振動3軸合成値*2	2.54m/s ²	

【寸法・重量】

項目	仕様
本体寸法(mm)	220×305×62
本体重量(g)	990
コード長(mm)	1300

対応品

- N-950-1 : 太丸チェーンソープロ用ソーチェン
- N-950-2 : 太丸チェーンソープロ用ガイドバー
- N-938-3 : 28.8V/2.1Ah バッテリー*

*記載のバッテリー以外では使用しないでください。

*1 参考数値です。使用状況、バッテリーの状態により変動します。
*2 EN60745規格に基づき測定。

【品番別付属品一覧表】

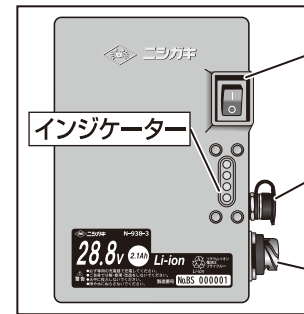
品番	品名	本体	バッテリー	充電器	電源コード	アームバンド	チェーンカバー	レンチ・ドライバー	丸ヤスリ	チェーンオイル	交換用ソーチェン	ハードケース
N-950	太丸チェーンソープロ (バッテリー・充電器付)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
N-951	太丸チェーンソープロ (本体のみ)	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○

N-950 付属品 バッテリー・充電器

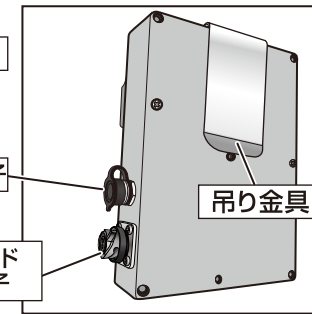
■バッテリー (充電池) ※以降「バッテリー」と記載

品番:N-938-3

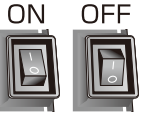
■表



■裏



- スイッチ
上 [I] でON
下 [O] でOFF



項目	仕様
電圧	DC28.8V
電池	リチウムイオン電池
容量	2.1Ah
質量	約0.6kg
過電流防止装置	内蔵
充電回数の目安	約500回

【バッテリー寿命について】

正しく充電しても使用時間が著しく短くなった場合はバッテリー寿命とお考えいただき、新しいバッテリーをお買い求めください。(※切刃の切れ味が低下した場合にも、作業量が少なくなる事があります。)

⚠注意

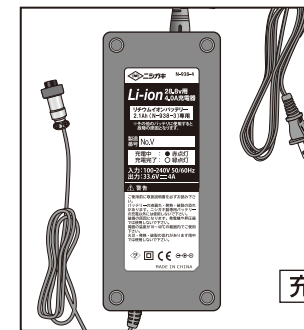
バッテリーの保管について (重要)

- ・バッテリー容量が少ない状態で放置しないでください。(過放電状態になるとバッテリー寿命を縮めます)
- ・満充電状態のバッテリーを再度充電しないでください。
- ・長期間 (6ヶ月以上) ご使用にならない場合は、満充電に近い状態で保管してください。
- ・バッテリーを長期間保管する際は必ず本体または充電器から取外し、高温・多湿を避けて保管してください。

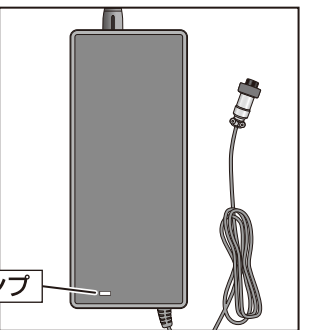
■充電器

品番:N-938-4

■表



■裏



- 充電中…赤色LEDランプ点灯
- 充電完了…緑色LEDランプ点灯



項目	仕様
入力	AC100V~AC240V 50/60Hz
出力	DC33.6V/DC4.0A
充電時間	約45分*
質量	約0.5kg

*充電時間は周囲の温度やバッテリーの状態により変動します。

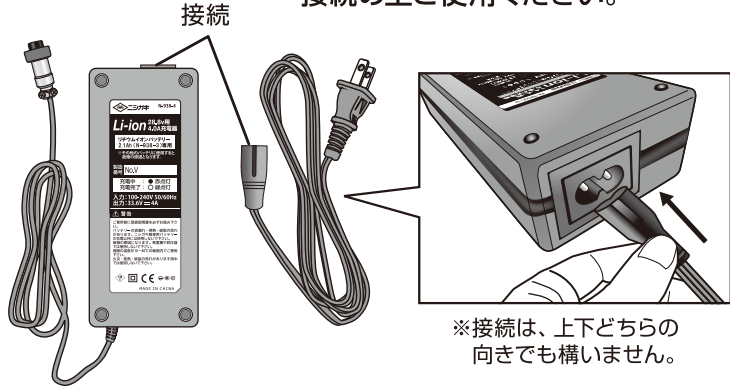
⚠警告

付属の28.8V/2.1Ahバッテリー (N-938-3) 専用充電器となります。その他のバッテリーに使用すると故障の原因となりますのでおやめください。

充電方法

- ※初回ご利用時は満充電にしてから、ご使用ください。
- ※充電中は充電器本体に多少の熱を持ちますが性能には影響ありません。
- ※充電状態は充電器のランプで表示しています。(図1参照)

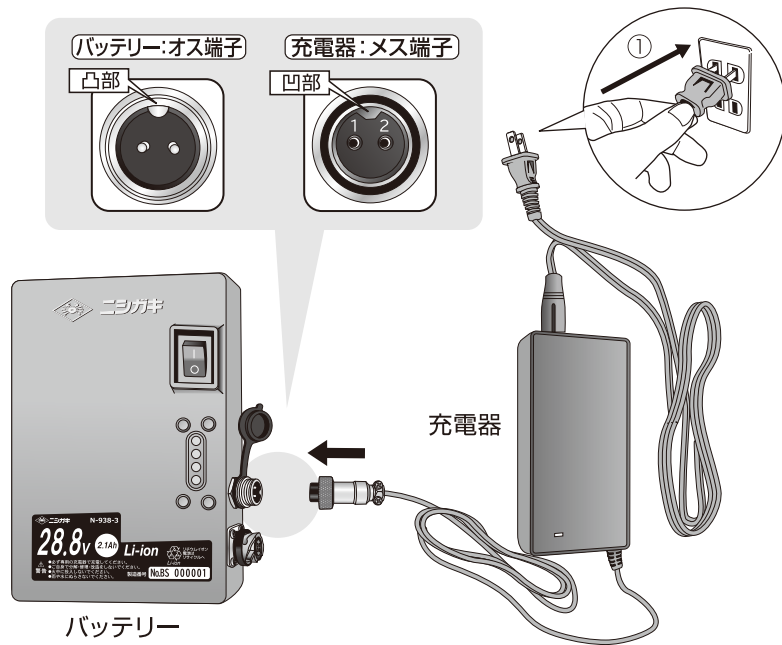
【プラグコードの接続】ご購入時は充電器本体とプラグコードが別になっていますので、接続の上で使用ください。



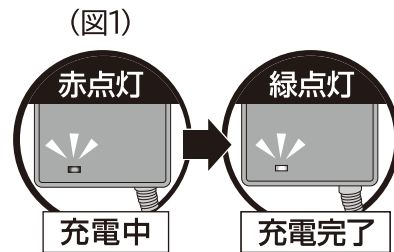
警告

本製品付属の充電器 (N-938-4) は、付属の28.8V/2.1Ahバッテリー (N-938-3) 専用充電器となります。その他のバッテリーに使用すると故障の原因となりますのでおやめください。

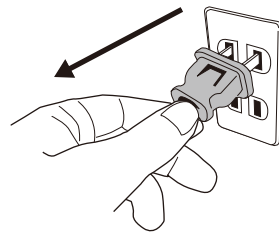
①充電器の電源プラグを電源コンセントにさし込みます。



③充電器のランプが緑に点灯すれば充電完了です。バッテリーを充電器から取外してください。

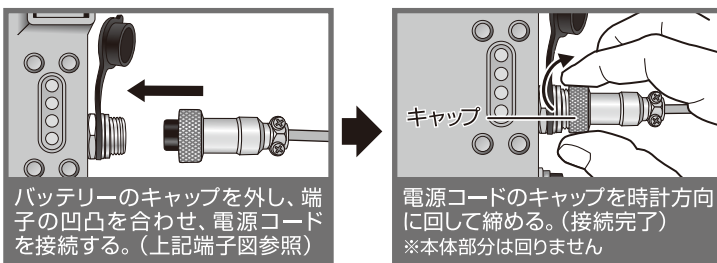


④充電器の電源プラグを電源コンセントから抜いてください。



充電時間の目安: 約45分
(N-938-4: 4.0A充電器使用時)
※充電時間は周囲の温度やバッテリーの状態により変動します。

②バッテリーを充電器に接続します。
(充電器のランプが赤に点灯します)



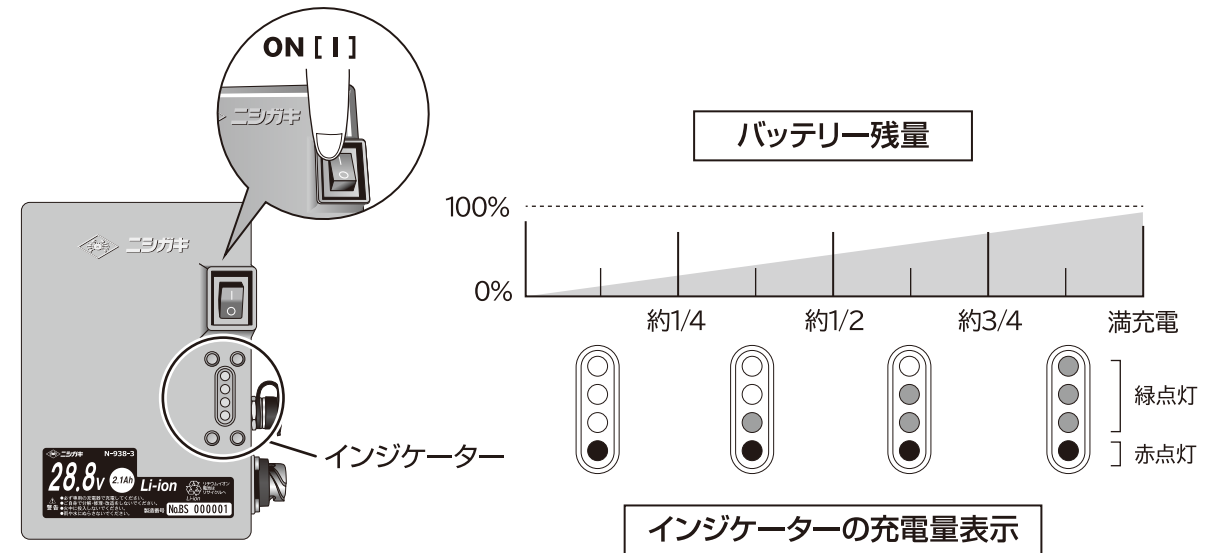
注意

- ・充電中、テレビ・ラジオなどに雑音が入ることがあります。この場合、充電器をテレビ・ラジオから離すか、別のコンセントを使用してください。
- ・周囲の温度が10℃～40℃の間で充電ください。それ以外の温度で充電されると充電完了までの時間が長くなります。
- ・充電完了後は、必ず充電器からバッテリーを取外してください。
- ・充電状態でのご使用はおやめください。機器破損の原因となります。

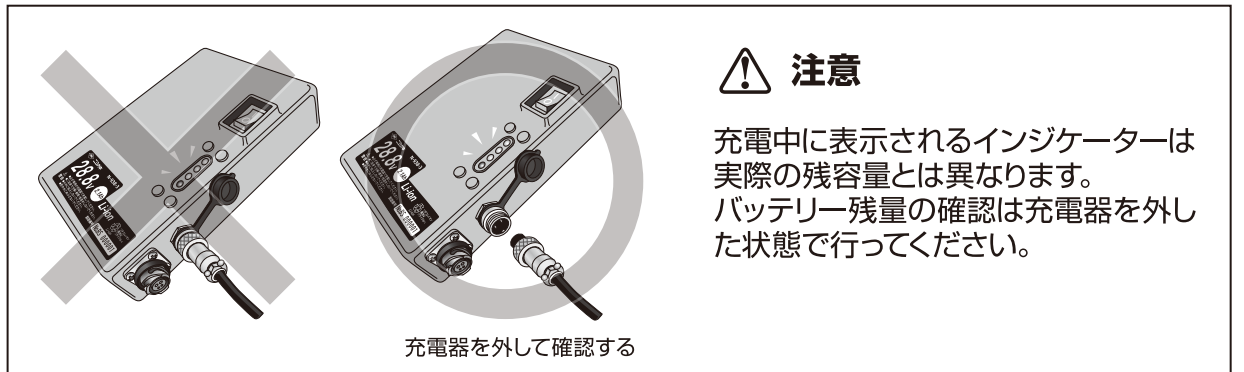
使用中におけるインジケータの点灯表示について

点灯表示とバッテリー残量の目安

バッテリーのスイッチをONにすると、インジケータが点灯します。



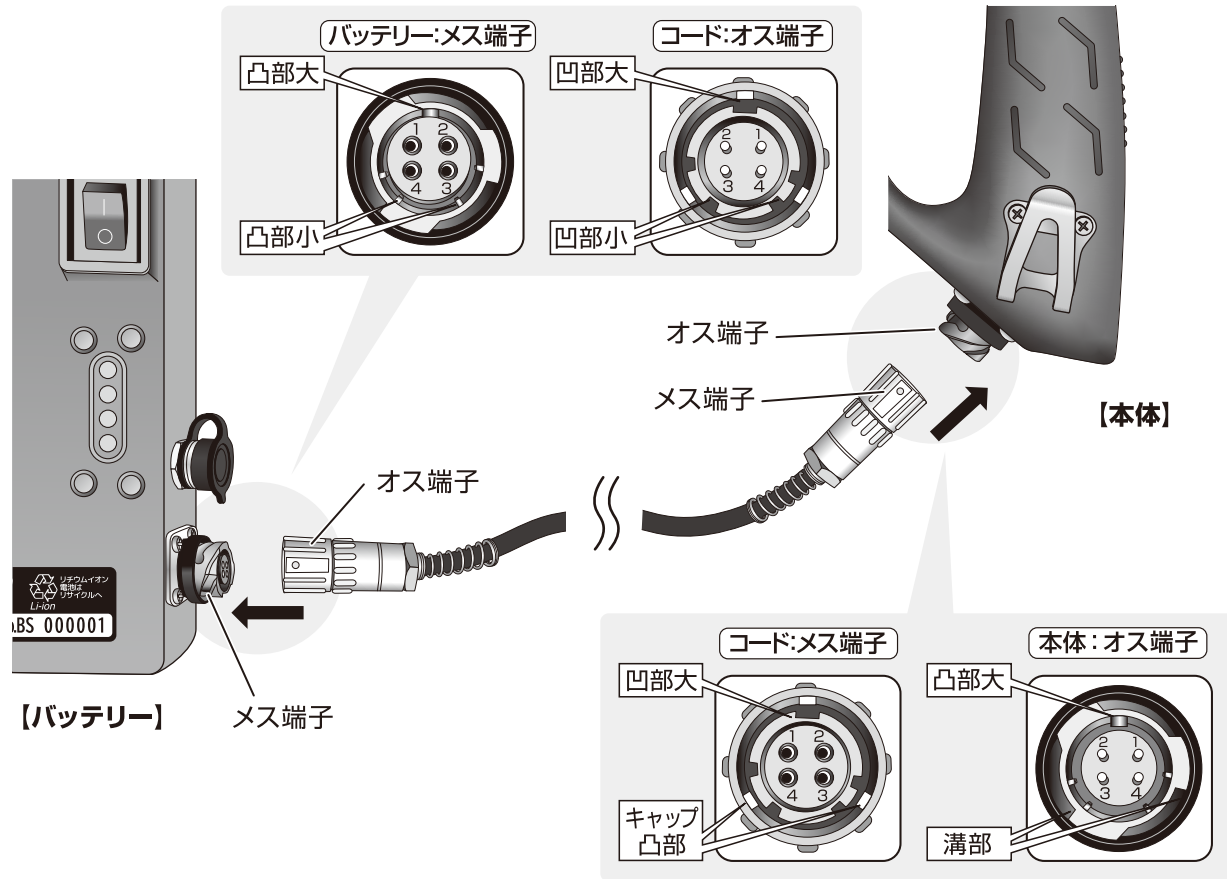
表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。



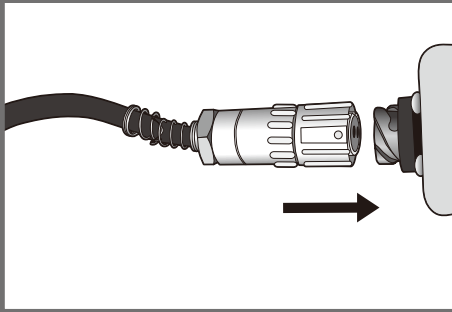
接続方法

⚠ 本製品は 14.4V 対応製品及び 14.4V バッテリーに接続する事はできません。

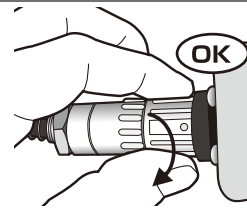
- ・付属の電源コードでバッテリーと本体を接続します。
コードの向きを間違えないようご注意ください。



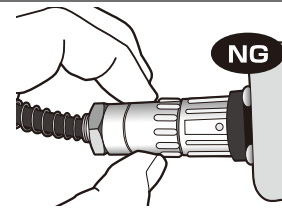
① 端子の凹凸を合わせ、電源コードを接続する。(上記端子図参照)



② 電源コードのキャップを時計方向に回して締める。(接続完了)



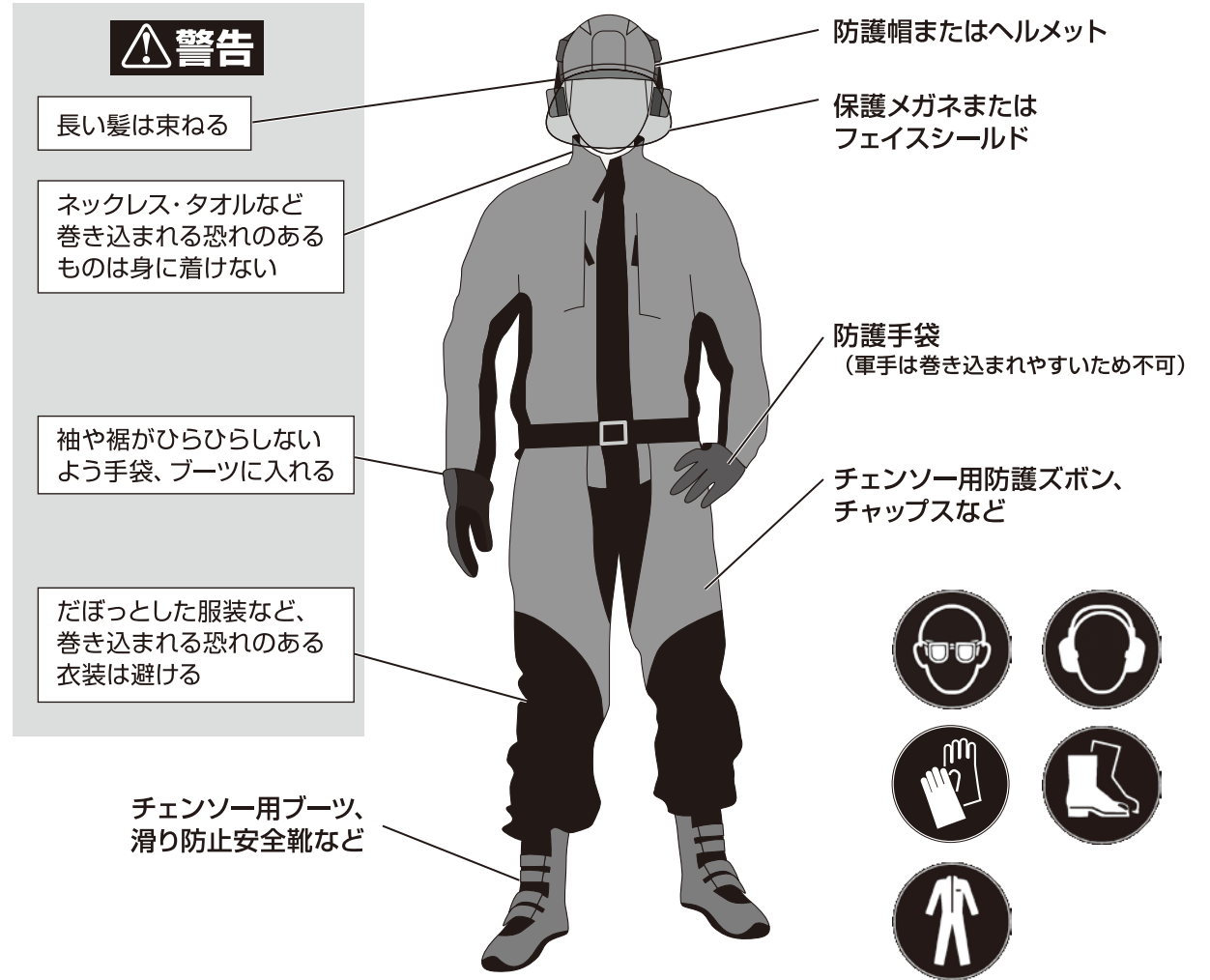
キャップ部分を回して締めてください。



⚠ 注意 本体部分は回しません。
無理に回すと相手側端子の破損につながります

作業時の服装について

■本機を安全にお使いいただくため、下図のような服装で作業を行ってください。
※ヘルメット、保護メガネ等は付属していません。



重要

2019年8月1日より、チェンソーを使用する業務に携わる全ての作業者は、チェンソー防護ズボンまたはチャップスの着用が義務化されています。
労働安全衛生規則 第二編 第八章 「伐木作業等における危険の防止」第485条(下肢の切創防止用保護衣の着用)

点検・整備の項目と目安時期

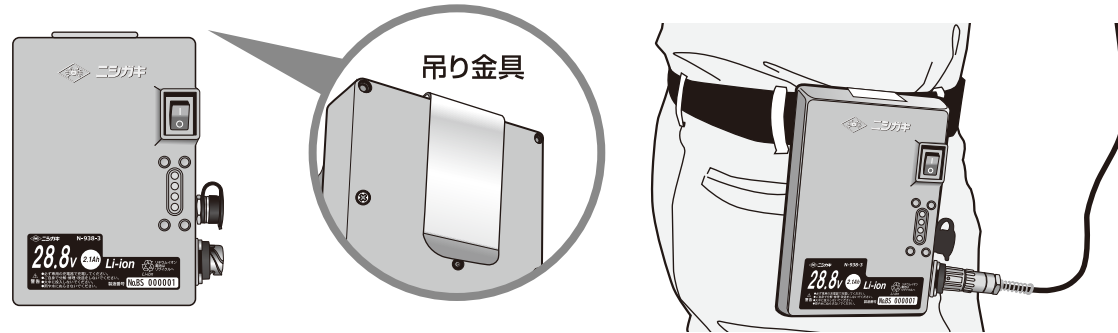
- ・本機を安全にご使用いただくために、定期的な点検と整備を行ってください。
- ・異常を発見した場合は、ただちにご使用を中止してください。本機の異常はご自分で修理をせず、お買い求めの販売店またはニシガキ工業(株)へご相談ください。

部 位	点検・整備項目	時 期		参照 ページ
		作業前/後	作業中	
各部	ネジ・ナット類の緩み点検	●		—
	割れ・欠け・変形・摩耗・損傷などの点検	●		—
	異音の有無の確認	●		—
スイッチ類	動作確認	●		—
ソーチェン	摩耗、歪み、欠けなどの点検	●	●	P.27
	目立ての確認	●	●	P.27
	張り具合の確認	●	●	P.17
ガイドバー	摩耗、歪み、欠けなどの点検	●	●	P.26
	ゴミつまりの清掃	●	●	P.26
チェーンオイル	吐出確認	●	●	P.18
	残油量の確認	●	●	P.18
オイル吐出口	ゴミつまりの清掃	●	●	P.30
スプロケット	摩耗、歪み、欠けなどの点検	●		P.29

バッテリーの装着方法

- ・バッテリーの吊り金具を腰ベルトに差込み装着してください。

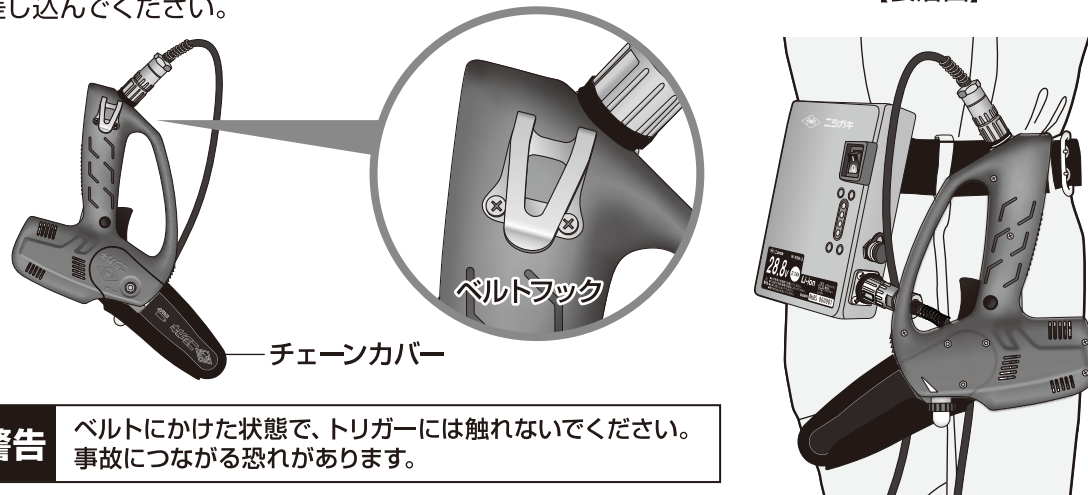
【装着図】



ベルトフックの使用方法

- ・チェーンカバーを装着し、本体のベルトフックを腰ベルトに差し込んでください。

【装着図】

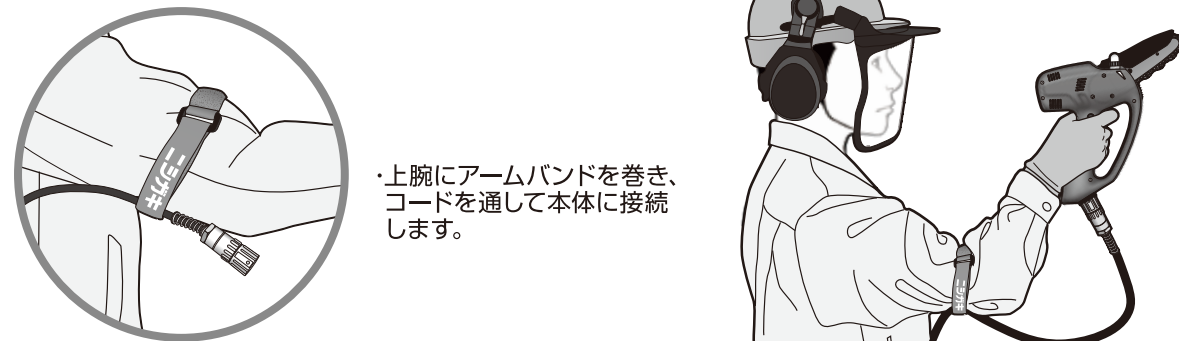


警告 ベルトにかけた状態で、トリガーには触れないでください。事故につながる恐れがあります。

アームバンドの使用方法

- ・作業中、コードの絡まりが気になる方は付属品のアームバンドをご利用ください。

【装着図】



・上腕にアームバンドを巻き、コードを通して本体に接続します。

注意 バッテリーの電源は切った状態で接続してください。

点検と修理について

定期点検について

- ・製品を安全に能率よくご使用いただくために、1年に一度定期点検(有料)に出されることをおすすめします。又、**バッテリー(充電機)は消耗品です**。バッテリー寿命による消耗で動かなくなった場合は交換(有料)が必要になります。お買い求めになった販売店に依頼されることをおすすめします。

修理について

- ・正常に作動しないときは、ご自分で修理なさらず、お買い求めの販売店またはニシガキ工業(株)にご依頼ください。その他、取扱い上でご不明な点、ご質問など遠慮なくお問い合わせください。

ご使用前の点検

警告 事故を防止するため、必ずバッテリーのスイッチを切り、本体よりバッテリーを取り外してください。



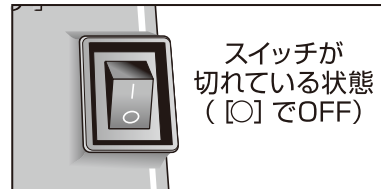
注意 必ず手袋を着用し、手や顔などに刃が触れないようにしてください。



1. バッテリーのスイッチが切れていることを確認してください

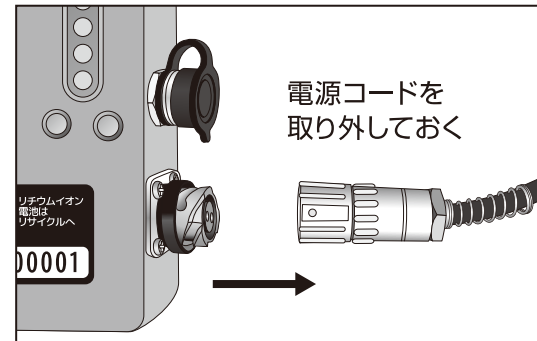
本機は、スイッチが入っている状態で接続しても、ソーチェンが動かない仕様になっていますが、操作ミスによるケガを防ぐためにも、必ずスイッチが切れている状態を確認してください。

バッテリー



2. バッテリーの電源コードを取り外しておく

1.と同様、操作ミスによるケガを防ぐため、バッテリーの電源コードを取り外しておいてください。



ソーチェンの張り具合の調整



注意

・新品のソーチェンは伸びがちなので、頻りに張りの確認と調整をしてください。
・ソーチェンの張りが強すぎると、ソーチェンの破断やモーター破損の原因となる恐れがあります。また張りが弱すぎると、使用中にガイドバーからソーチェンが外れる恐れがあります。

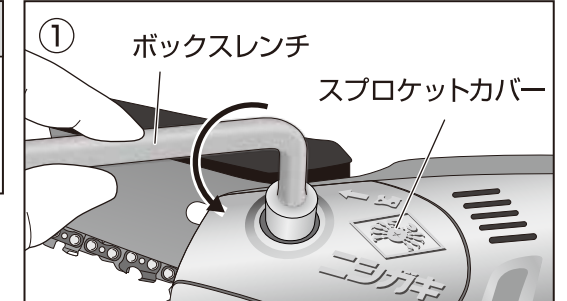
・新しくソーチェンを装着した時や、作業中にソーチェンが伸縮して張り具合が変わった場合は、その都度張り具合の調整をしてください。



注意

・ソーチェンの調整をする場合は、必ずスプロケットカバーのナットを付属のボックスレンチで緩めてください。
・ナットでガイドバーを固定しているため、ナットを緩めないでソーチェンの張り具合は調整できません。

① 付属のレンチでスプロケットカバーのナットを緩めます。

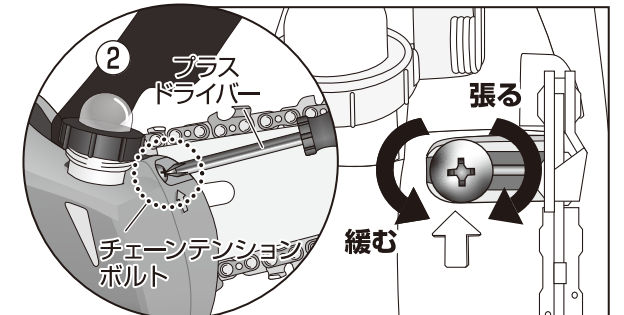


張りが強い場合

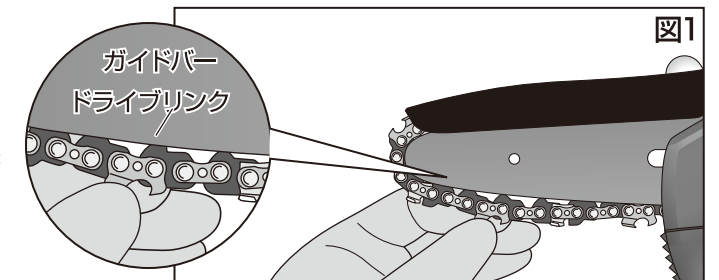
② チェーンテンションボルトを付属のドライバーで左回りに回し、張りを弱めてください。

張りが弱い場合

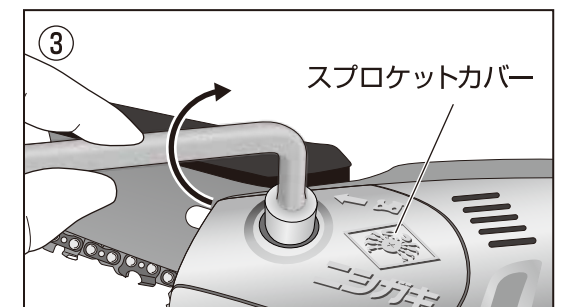
② チェーンテンションボルトを付属のドライバーで右回りに回し、張りを強めてください。



※ソーチェンの張り具合は、手でソーチェンを軽くつまみ上げて、ドライブリンクがガイドバーの溝からはみ出さない程度(図1参照)が適切です。



③ 付属のレンチでスプロケットカバーのナットを締めます。



チェーンオイルの充填と吐出の確認



- ・ゴミなど異物の混入したチェーンオイルや、揮発性のオイルなどは使用しないでください。
- ・廃油や再製油、汚れたオイルなどは使用しないでください。
- ・火気のある場所では、チェーンオイルの充填・吐出をしないでください。



- ・付属のチェーンオイルが無くなった場合は、市販のチェーンソー用オイルをご使用ください。
- ・使用中はオイルが飛び散るため、汚れてもいい場所で作業をするか、敷物等で汚れを防いでください。
- ・チェーンオイルの残量が少ない状態で使用しないでください。

・チェーンオイルは、ソーチェーンの回転により生じる摩擦抵抗を軽減することで、ソーチェーンの摩耗や、摩擦から生じる発熱を防止する働きがあります。使用中は、こまめにチェーンオイルを塗布してください。

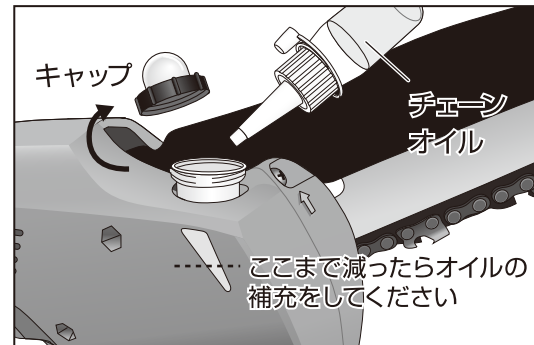


チェーンオイルの充填

① オイルタンクのキャップ部分を回して外し、チェーンオイルを静かに注いでください。(内容量約16cc)

② 給油後はキャップをしっかりと締めてください。

※本機使用中はチェーンオイルの残量にご注意ください。残量が1/3を切ったら、すぐに補充をしてください。



吐出の確認

① チェーンオイルの吐出を確認しやすくするため、ガイドバーを日の当たる場所や電灯など、明るい方向に向けます。

② 使用方法 (P.19) に沿って本機を起動させ、オイルキャップを押してチェーンオイルを吐出させてください。

③ チェーンオイルが飛び散るかどうかを目視で確認してください。



※チェーンオイルが吐出されない場合、吐出口の清掃 (P.30) を行ってください。それでも改善されない場合は、販売店もしくは弊社にご連絡ください。

※新品時や空のタンクに給油した場合には、チェーンオイルが出るまでしばらく時間がかかる場合があります。

使用方法



- ・使用中、回転部分に強い衝撃を加えるような使い方はしないでください。ソーチェーン及び本体の破損につながります。(保証対象外)
- ・連続使用の場合、本体(モーター)が熱くなりましたら使用を中止し、温度が下がるまでお待ちください。(そのまま使用し続けた場合、モーター焼け・故障の原因になります)
- ・使用中、本体・ソーチェーン・ガイドバー・スプロケットが高温になる場合があります。やけどをする恐れがあるので、完全に冷めるまでは触れないでください。

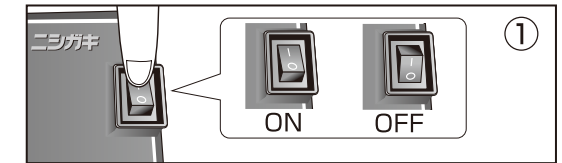


ご使用における推奨温度範囲について

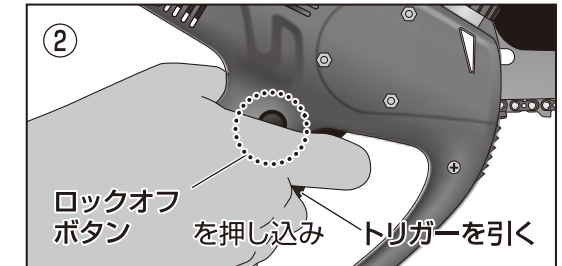
作業時、充電時共にバッテリー及び周辺温度が10℃~40℃の範囲内でご使用ください。

基本的な切断作業

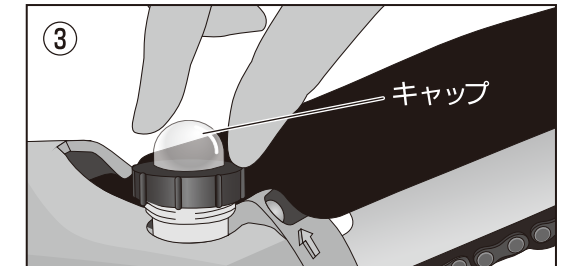
① バッテリーのスイッチを入れてください。上 [I] を押すとON、下 [O] を押すとOFFになります。



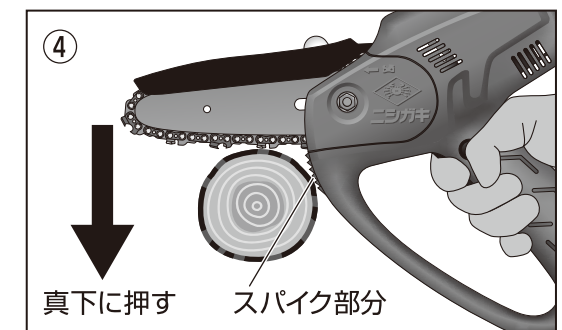
② ロックオフボタンを押し込んだ状態でトリガーを引くとソーチェーンが回転します。
※ロックボタンは左右どちらを押しても使用できます。トリガーを引いたまま、ロックオフボタンから手を離します。



③ オイルタンクのキャップを押して、チェーンオイルを吐出させます。
・以降、使用10分毎に1回程度チェーンオイルを吐出してください。



④ 本体のスパイク部分を木材に当て、真下へ押しして切断します。
・スパイク部分を木材に当てて切断すると、刃がぶれずに安全に切断できます。

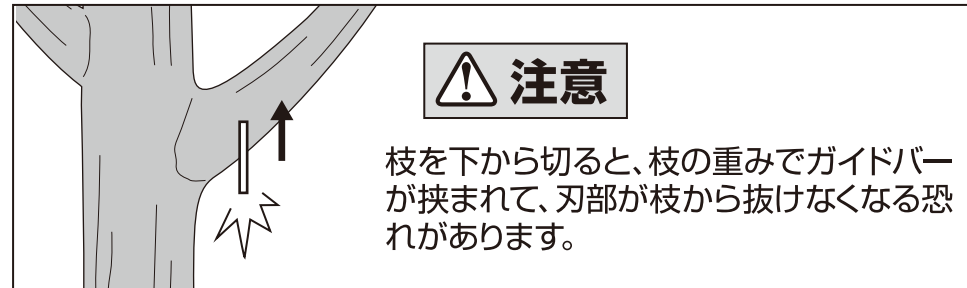
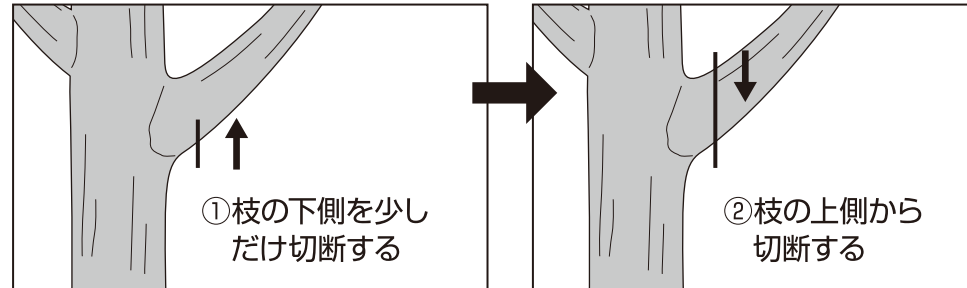


切断が終わる際には荷重をかけずに本機を引き上げます。そのまま荷重をかけると突然負荷がなくなり事故につながります。

枝打ち作業

枝打ち作業をする場合、先に枝の下側を少し切り、次に上から枝を切断してください。

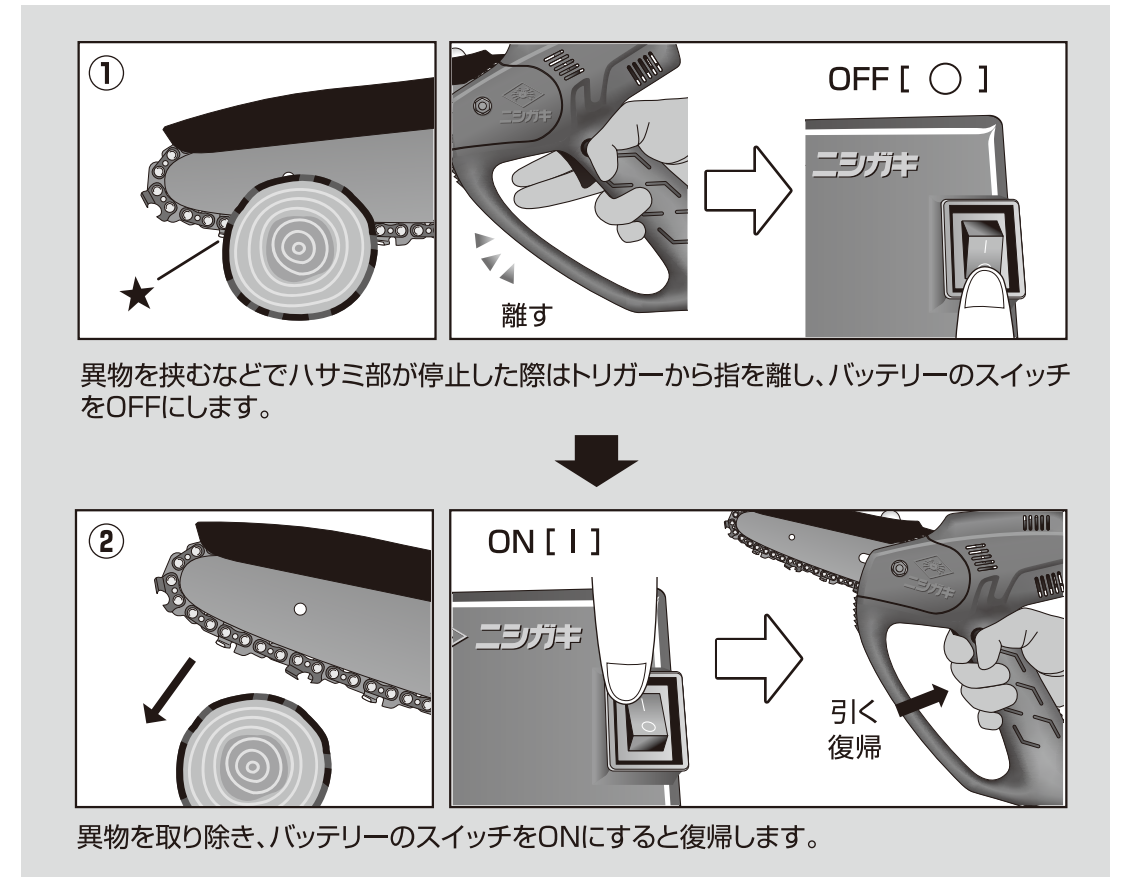
・下側を切らずに切断すると、枝の表皮が残り、仕上がり面が汚くなります。



モーター安全装置について

切断時、ガイドバーが枝に食い込むなどしてモーターに負荷がかかった場合、安全装置が働き本機は一時的に電源が切れて停止します。

トリガーを引いてもチェーン部が動かない場合や、ガイドバーが枝に食い込んでいる場合は、バッテリーの電源をOFF [O] にし、ガイドバーを枝から抜いてから、バッテリーの電源をON [I] にして電源を入れ直してください。



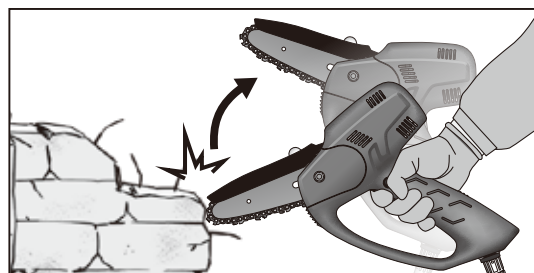
●ガイドバーが枝に食い込んだ時は

- ・バッテリーのスイッチをONにする前に、ガイドバーの歪みがないか確認してください。
- ・バッテリーのスイッチをONにする前に、ソーチェーンに歪みや欠けがないか確認してください。
- ・復帰後、異音がしないか確認してください。

警告 事故の危険性について

■キックバック

- ・ガイドバーの先端が硬いものに接触した時や、ソーチェンに急ブレーキがかかった場合、本機が使用者に跳ね返り、重症または致命傷を負う可能性があります。

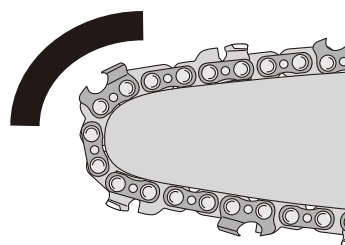


●キックバックを防ぐために

- ・ガイドバーの先端上部で切断をしないでください。(図1)
- ・本体をしっかりと持って切断してください。
- ・ソーチェンは常に目立てをし、よく切れる状態を保ってください。
- ・しっかりと張力をかけた状態で切断してください。

図1

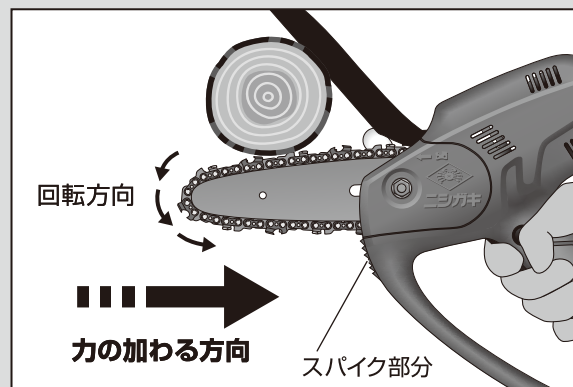
先端上部
切断不可



警告 本機のスパイク部分が枝に接していない状態で切断すると、本機が回転方向に引き込まれます。その場合、使用者はチェーンの制御を失い、けがや事故を起こす危険性があります。

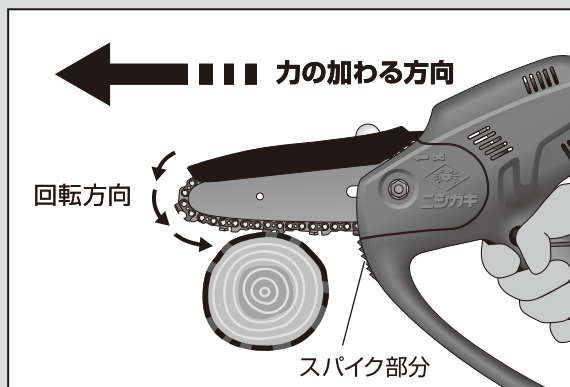
ソーチェンの上部で切断した場合

- ・チェーンが使用者の方向へと押し戻されます。



ソーチェンの下部で切断した場合

- ・チェーンが使用者から引き離されます。



●事故を防ぐために

- ・本体をしっかりと持ち、下部で切断する場合は必ずスパイク部分を木材に当て切断してください。
- ・ソーチェンは常に目立てをし、よく切れる状態を保ってください。
- ・しっかりと張力をかけた状態で切断してください。

お手入れ・保管について



警告 事故を防止するため、必ずバッテリーのスイッチを切り、本体よりバッテリーを取り外してください。



注意 必ず手袋を着用し、手や顔などに刃が触れないようにしてください。



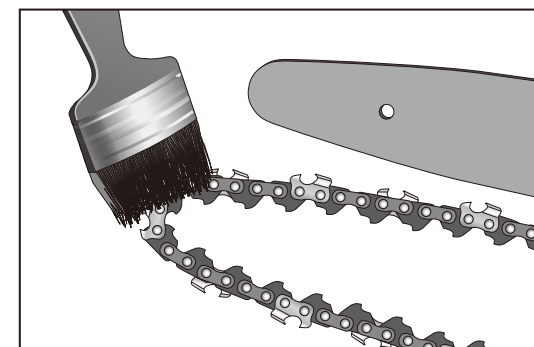
■清掃について

- ・本体全体を湿らせた布などを使って清掃してください。
- ・本体内部を清掃してください。
 - ①付属のレンチでナットを外し、スプロケットカバーを取り外します。(取り外し方はP.24参照)
 - ②チェーンカバーを持ち上げ、ソーチェンとガイドバーを取り外します。
 - ③湿らせた布などで本体内部を清掃してください。



注意 布で拭き取る場合は、ガソリン・シンナー・ベンジン・灯油類はプラスチックを溶かしますので使用しないでください。また、本体の水洗いは絶対にしないでください。

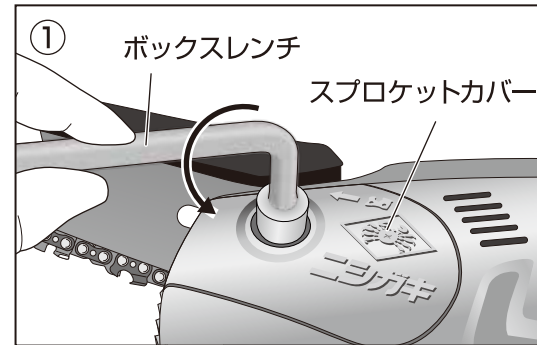
- ・取り外したガイドバーとソーチェンを柔らかいブラシなどを使用して清掃してください。
- ・接続端子部分は、柔らかく乾いたブラシなどを使用して丁寧に清掃してください。



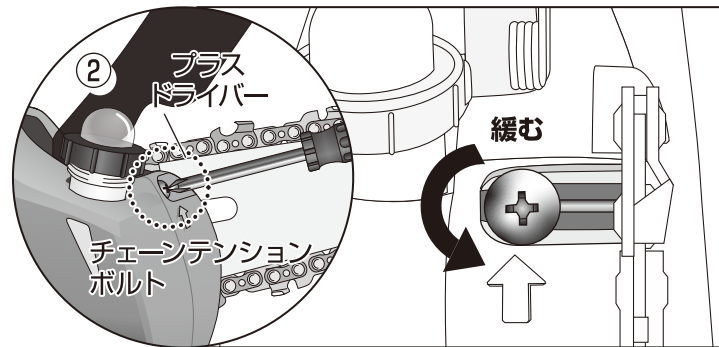
ソーチェン・ガイドバーの取り付け・取り外し方

取り外し方

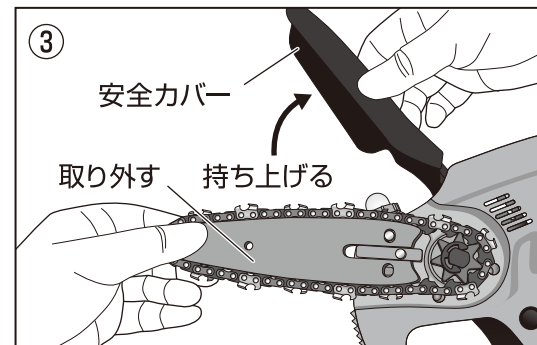
① 付属のレンチでナットを外し、スプロケットカバーを取り外します。



② チェーンテンションボルトをプラスドライバーで緩めます。



③ 安全カバーを持ち上げ、ソーチェンとガイドバーを取り外します。

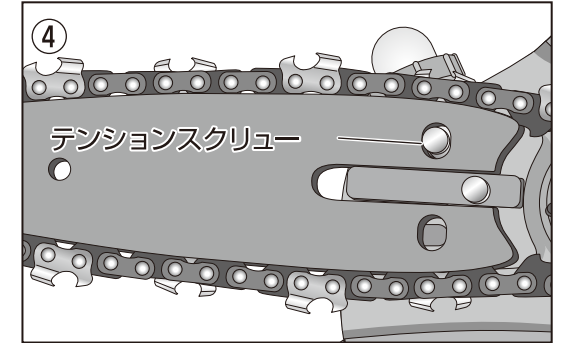
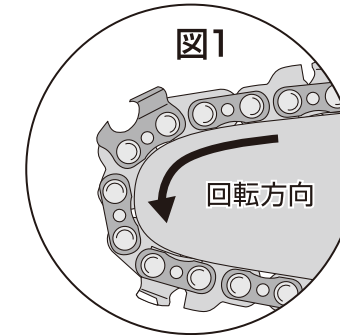


取り付け方

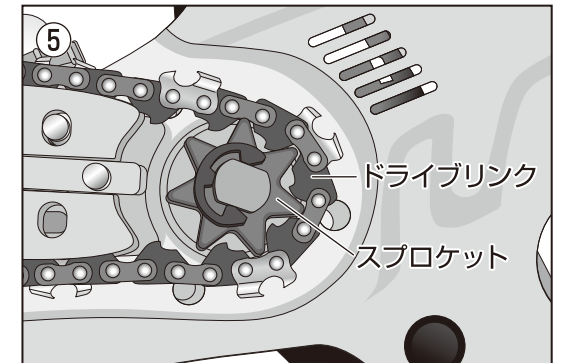
警告 指定されたソーチェンをご使用ください。(P.8 その他仕様欄、対応品の項目を参照)

④ ガイドバーの溝にソーチェンを取り付け、テンションスクリューとガイドバーの穴位置を合わせてガイドバーを置きます。

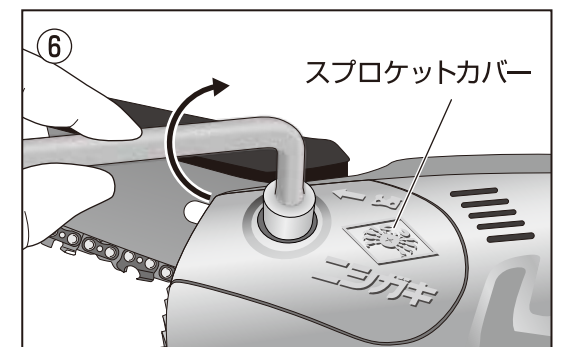
注意 ソーチェン取り付け方向にご注意ください。(図1参照)



⑤ ソーチェンのドライブリンクをスプロケットにはめます。



⑥ スプロケットカバーをナットで取り付けます。



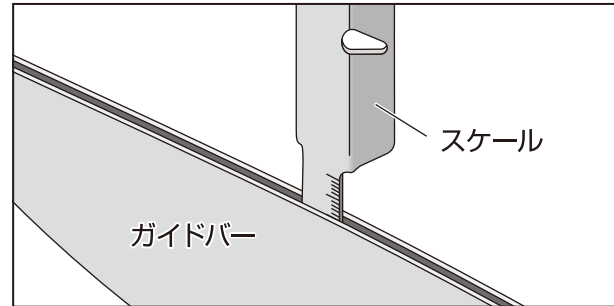
注意 ・ソーチェン取り付け後は、必ずソーチェンの張り具合の調整 (P.17) を行ってください。
・ソーチェンの取り外し・取り付けの際は、ゴミや切りくずなどのない場所で行ってください。

ガイドバーのお手入れについて

・ガイドバーに異常がないか定期的に点検してください。

点検とお手入れ

- ① 付属のレンチでナットを外し、スプロケットカバーを取り外します。(取り外し方はP.24参照)
- ② ソーチェンとガイドバーを取り外します。
- ③ ガイドバーの溝を清掃し、バリ取りをします。
- ④ 市販のスケールで溝の深さを測定します。
- ⑤ 以下の異常がないか確認してください。
 - ・ガイドバー全体の変形、破損。
 - ・ガイドバーの溝の変形。
 - ・測定した溝の深さが既定の限界値よりも浅い。
(付属のガイドバーの深さ限界値: 4mm)
- ⑥ 取り外した手順と逆の手順で取り付けます。



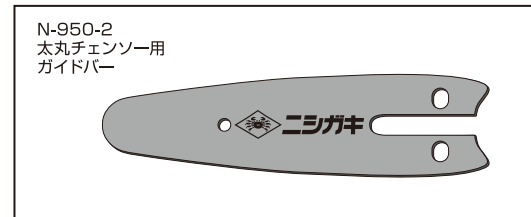
注意 ガイドバーは両面を使用することが可能です。かたよった摩耗を防ぐため、定期的にガイドバーを反転してご使用ください。

ガイドバーの交換

・ガイドバーに異常がある場合は、新しいものに交換してください。

【別売品】

- N-950-2 : 太丸チェーンソープロ用ガイドバー

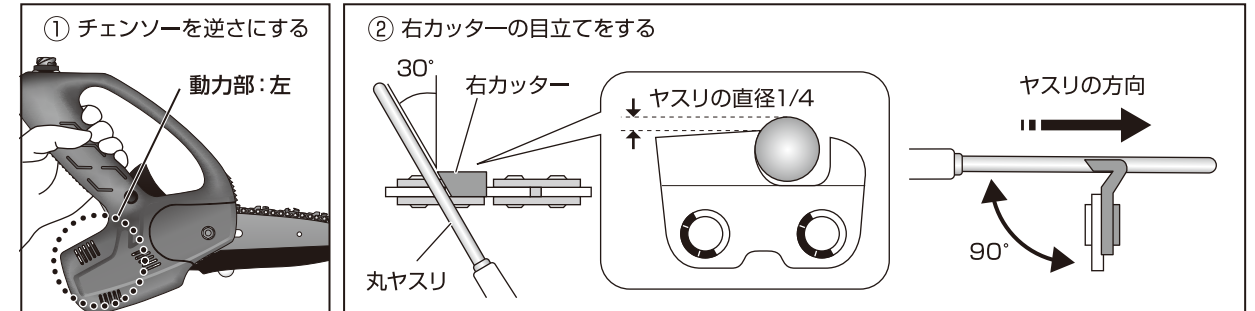


ソーチェンのお手入れについて

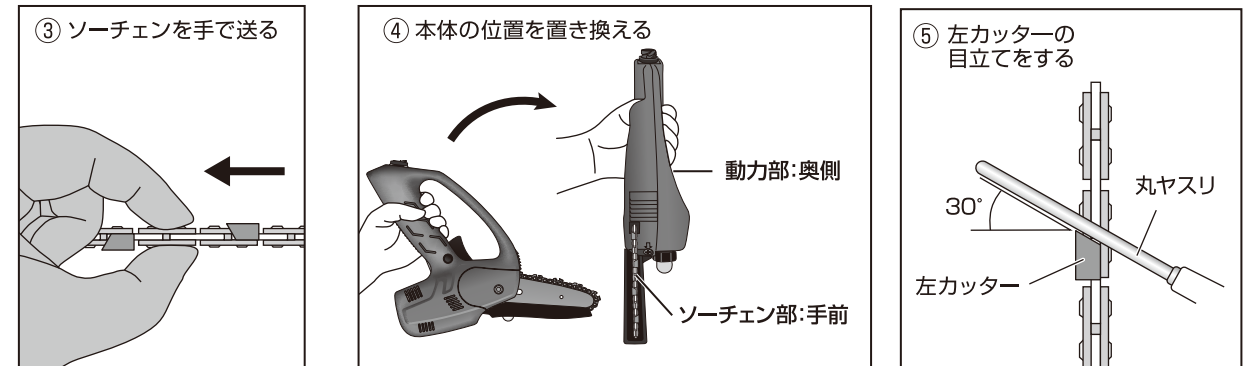
・ソーチェンは常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。

ソーチェンの目立て

- ① チェンソー本体を逆さにして、動力部を作業者の左側に置いてください。
- ② ソーチェンの右カッターに対して丸ヤスリ(付属品)を30度傾け、丸ヤスリの直径1/4が上刃より出るように当ててください。ガイドバーに対してヤスリを直角90度に持ち、押すときのみヤスリで削り、引くときはヤスリをソーチェンから離します。

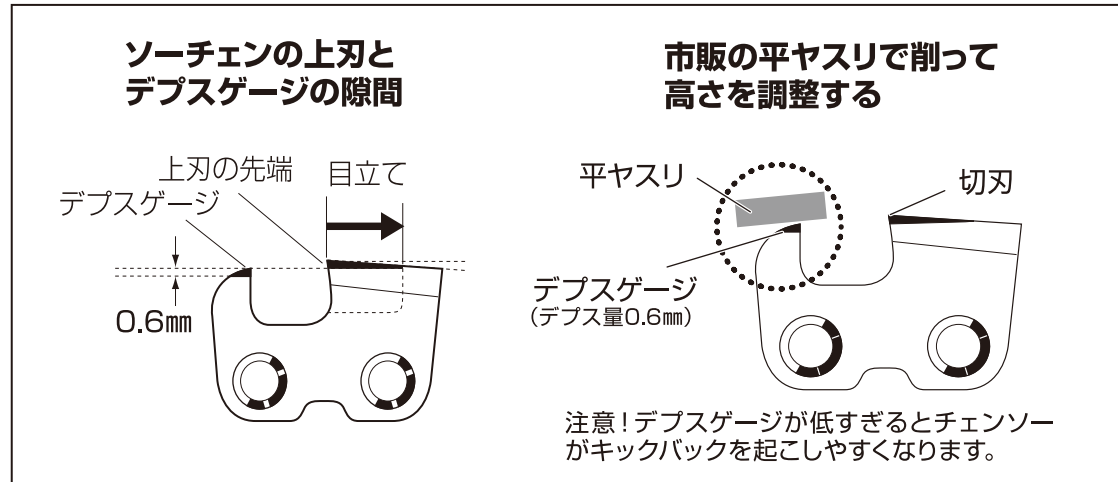


- ③ ソーチェンを手で送り、全ての右カッターに目立てをします。
- ④ 作業者に対してソーチェン部を手前、動力部を奥側になるよう位置を変えてください。
- ⑤ 右カッターと同じ要領で左カッターの目立てをします。



デプスゲージの調整について

- ・デプスゲージが上刃より高くなっていると目立て後も滑って切れないことがあります。デプスゲージの高さをヤスリなどで調整することで切れ味を蘇らせることができます。



- ・ソーチェンの目立てが簡単に正確にできる。

【別売品】

- N-814 : チェンソー目立機 3.2

N-821-52
チェンソー目立機 3.2

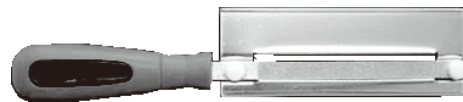


- ・デプスゲージの調整に便利

【別売品】

- N-821-52 : チェンソーデプス調整器

N-821-52
チェンソーデプス調整器



ソーチェンの交換

- ・ソーチェンの摩耗がひどい場合は、新しいものに交換してください。

【別売品】

- N-950-1 : 太丸チェーンプロ用ソーチェン

N-950-1
太丸チェーンプロ用
ソーチェン

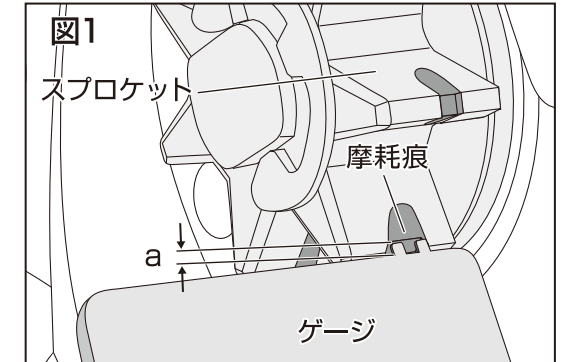


スプロケットの点検と交換方法

- ・スプロケットに異常がないか定期的に点検してください。

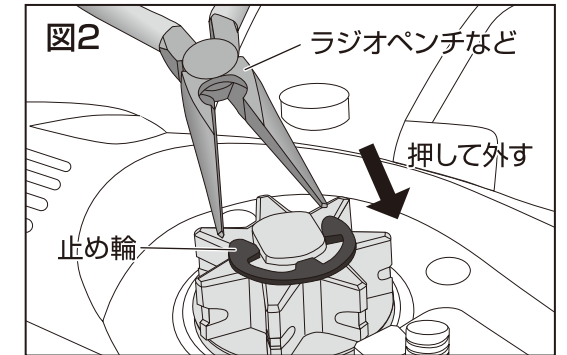
点検方法

- ① 付属のレンチでナットを外し、スプロケットカバーを取り外します。(取り外し方はP.24参照)
- ② ソーチェンとガイドバーを取り外します。
- ③ 市販のゲージで測り、摩耗痕 (図1: a) が0.5mmより深い場合は、新しいスプロケットと交換してください。(別売品)



交換方法

- ① ラジオペンチなどで押し、止め輪を外します。(図2)
- ② 古いスプロケットを取り外し、新しいスプロケットを取り付けます。
- ③ 取り外した手順と逆の手順で取り付けます。

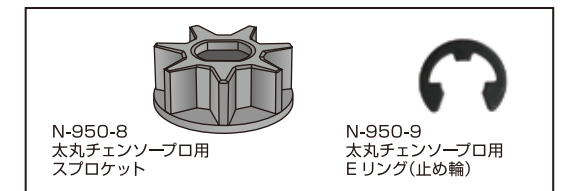


⚠ 注意

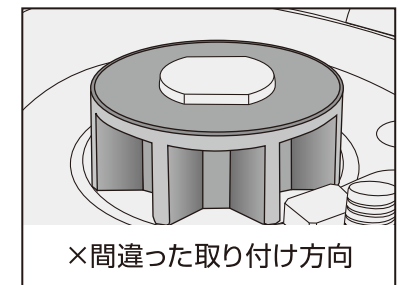
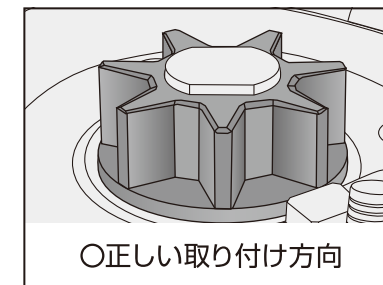
スプロケットを交換する際は、新品の止め輪を使用してください。(別売品)

【別売品】

- N-950-8 : 太丸チェーンプロ用スプロケット
- N-950-9 : 太丸チェーンプロ用 Eリング(止め輪)



- ・スプロケットを交換する際は、取り付ける向きを間違えないようにしてください。



⚠ 注意

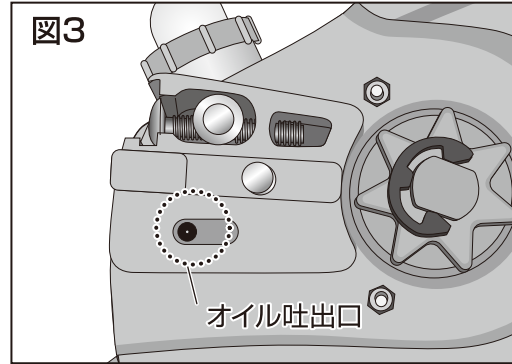
部品を交換した際は、必ず試運転を行ってください。

オイル吐出口の清掃について

- ・使用しているうちに吐出口に細かなゴミが溜まり、チェーンオイルの吐出量が少なくなる恐れがあります。

清掃方法

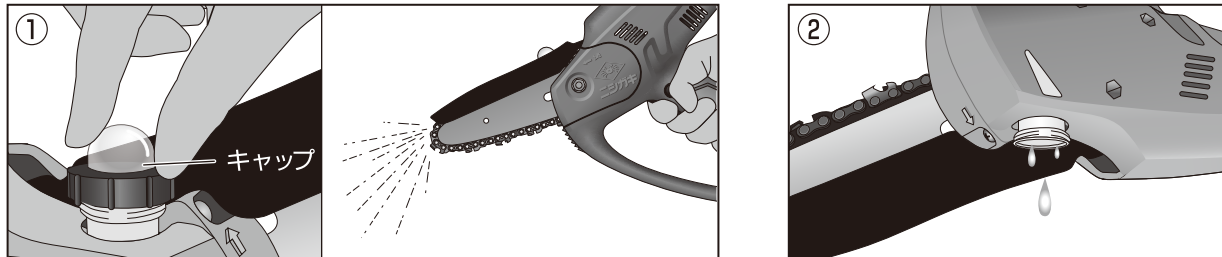
- ① 付属のレンチでナットを外し、スプロケットカバーを取り外します。(取り外し方はP.24参照)
- ② 安全カバーを持ち上げ、ソーチェンとガイドバーを取り外します。(取り外し方はP.24参照)
- ③ 本機のオイル吐出口(図3)に溜まっているゴミを取り除きます。
- ④ ソーチェンとガイドバーを取り付け、スプロケットカバーをナットで取り付けます。



保管方法

■本機の保管については、下記の項目に従って正しく安全に保管してください。

- ・バッテリーを外してください。
- ・お手入れ(P.23~P.30)の項目にある、清掃・メンテナンスを終えてください。
- ① ソーチェンを取り付け、オイルキャップを押しながら空転させて、ソーチェンにチェーンオイルを付着させます。
- ② 保管中のオイル漏れを防ぐため、オイルタンク内のチェーンオイルを抜いて、タンク内を空にしてください。



注意 付着したチェーンオイルが流れ落ちることがありますので、敷物を敷くなどして周囲を汚さないようにご注意ください。

- ③ チェーンカバーを装着した状態でハードケースに戻し、高温にならない乾いた場所に保管してください。
お子様の手の届く場所や落下の危険がある場所には保管しないでください。



トラブルシューティング

注意 簡単な消耗品の交換以外、ご自身で分解・修理は行わないでください。分解・修理をされた場合、たとえ保証期間内であっても、保証対象外となります。

こんな時は・・・	考えられる原因	処置	参照ページ
動かない。	・電池容量が少なくなっている。	・充電器とバッテリーを接続して充電してください。	P.10
	・電源コードとバッテリーが外れている。	・電源コードとバッテリーを接続してください。	P.12
	・電源スイッチが入っていない。	・バッテリーの電源スイッチを入れてください。	P.19
	・バッテリーや周辺温度が異常に低い、もしくは異常に高い。	・バッテリーや周辺温度が10~40℃以外の状況下で使用されますと、正しく動作しないだけでなく、バッテリーの寿命にも悪影響を与えますので、適正温度内でご使用ください。	P.19
	・トリガーを深く握れていない。	・ロックオフボタンを押しながら、しっかりとトリガーを引いてください。	P.19
	・ソーチェンに異物が挟まっている。	・電源を切り、異物を取り除いてください。	P.21
	・ソーチェンを締め過ぎている。	・ソーチェンの張りを調整してください。	P.17
	・電源コードが内部断線している。	・新しい電源コードに交換してください。(別売)	P.32
	・部品が故障している。	・お買い上げ販売店もしくは弊社に修理をご依頼ください。	P.32
	チェーンの切れが悪い。	・ソーチェンが欠けたり、摩耗している。	・目立てをするか、新しいソーチェンに交換してください。(別売)
・デプスゲージの寸法が大きくなりすぎている。		・ヤスリを使ってデプスゲージの調整をしてください。	P.28
・ソーチェンの向きが間違っている。		・ソーチェンを正しい向きに付け直してください。	P.24
・ソーチェンを締め過ぎている。もしくは緩めすぎている。		・ソーチェンの張りを調整してください。	P.17
チェーンオイルが吐出されない。	・ガイドバーの溝に木くずが詰まっている。	・ガイドバーを清掃してください。	P.26
	・オイルタンクが空になっている	・チェーンオイルを充填してください。	P.18
	・オイル吐出口が詰まっている。	・オイル吐出口を清掃してください。	P.30
本機から異音がある。	・ソーチェン、ガイドバーが正しく取り付けられていない。	・正しく取り付けてください。	P.24
	・ソーチェン、ガイドバーが変形、破損している。	・ソーチェン、ガイドバーを新しいものに交換してください。(別売)	P.26 P.28
充電ができない。	・部品が故障している。	・お買い上げ販売店もしくは弊社に修理をご依頼ください。	P.32
	・バッテリーと充電器が正しく接続されていない。	・接続を確認してください。	P.10
バッテリーの残量が以前よりも早くなる。	・本機、またはバッテリーの温度が高くなっている。	・本機、またはバッテリーを日陰に置くなどして冷ます。(水をかけない)	
	・使用限界になっている。(バッテリーの寿命)	・お買い上げ販売店もしくは弊社に修理をご依頼ください。	P.32
	・硬い木や太い木を切断したり、長時間使用している。	・本機の能力に見合った範囲内でご使用ください。	P.19
バッテリーの残量が以前よりも早くなる。	・外気温が低すぎる。	・外気温が10~40℃の範囲内でご使用ください。	P.19
	・使用限界になっている。(バッテリーの寿命)	・バッテリーを新しいものに交換してください。(別売)	P.8